

地区研修会

地区研修会とは

CMED会では全国の代表的なダム現場で直接会員の意見を集約し、会の活動に生かすためや会員相互の交流、技術の研鑽を目的とした「地区研修会」を毎年1回開催しています。現場を見学するのはもちろん、特定のテーマについて討論をおこなったり、専門家をお呼びして講演会を開催しています。

1. 開催箇所別参加状況

平成22年度は全国3地区にて「地区研修会」を実施しました。

地区	開催地	開催期間	参加者数
北海道	京極ダム	9/2～9/3	32
東北	津軽ダム	7/29～7/30	36
中部	湯西川ダム	7/22～7/23	17

2. 討議内容

各地区では主に下記3項目について討議しました。

- 1) 現場が求めるIT技術について
- 2) CMED会活性化の方策について
- 3) 現場が直面する諸問題について

(討議の内容については「ダム工事総括管理技術者会ホームページ、会員専用コーナー」に掲載)

3. 講演会

- 1) 北海道地区 : 山口嘉一 (独)土木研究所 上席研究員
「既設ダムの有効利用技術の最近の動向」
- 2) 東北 地区 : 竹林征三 富士常葉大学客員教授
「ダムは本当に不要なのか」
- 3) 中部 地区 : 藤澤侃彦 (財)ダム技術センター顧問
「設計と施工の関連」

4. 平成23年度開催方針

地区研修会は、討議を通してCMED会員の意見を集約し、常任幹事会活動に反映させるとともに、現在の現常任幹事会活動の内容・成果等について会員の理解を深めることを主な目的とする。

来年度についても今年度と同様の方針で開催することとしました。

- * 常任幹事会にて全国より開催現場を3箇所選定して開催する。選定に際しては、工事の進捗率、注目される工法等を参考とし、代表的な現場とする。
- * 開催時期は6月中旬より9月上旬を目途に設定する。
- * 常任幹事会により魅力有る講師を選定し、全会場で講演会を開催する。
- * 常任幹事から開催場所毎に担当のリーダーを選出し、当該地区研修会を円滑に進行させる。
- * 可能な限り打設状況が見学できるよう、時間割等の事前調整を実施する。
- * 討議の時間が十分に取れるように時間配分を予定し、合同幹事会で報告して調整を行う。
- * 討議会場では全員が討議に参加できるレイアウトとする。
- * 参加者全員の意見が得られるような討議の進行を実施する。
- * 意欲ある人に門戸を広げる目的から、希望があれば非会員の聴講も可能とする。

5. 現場研修状況

